

工事概要書

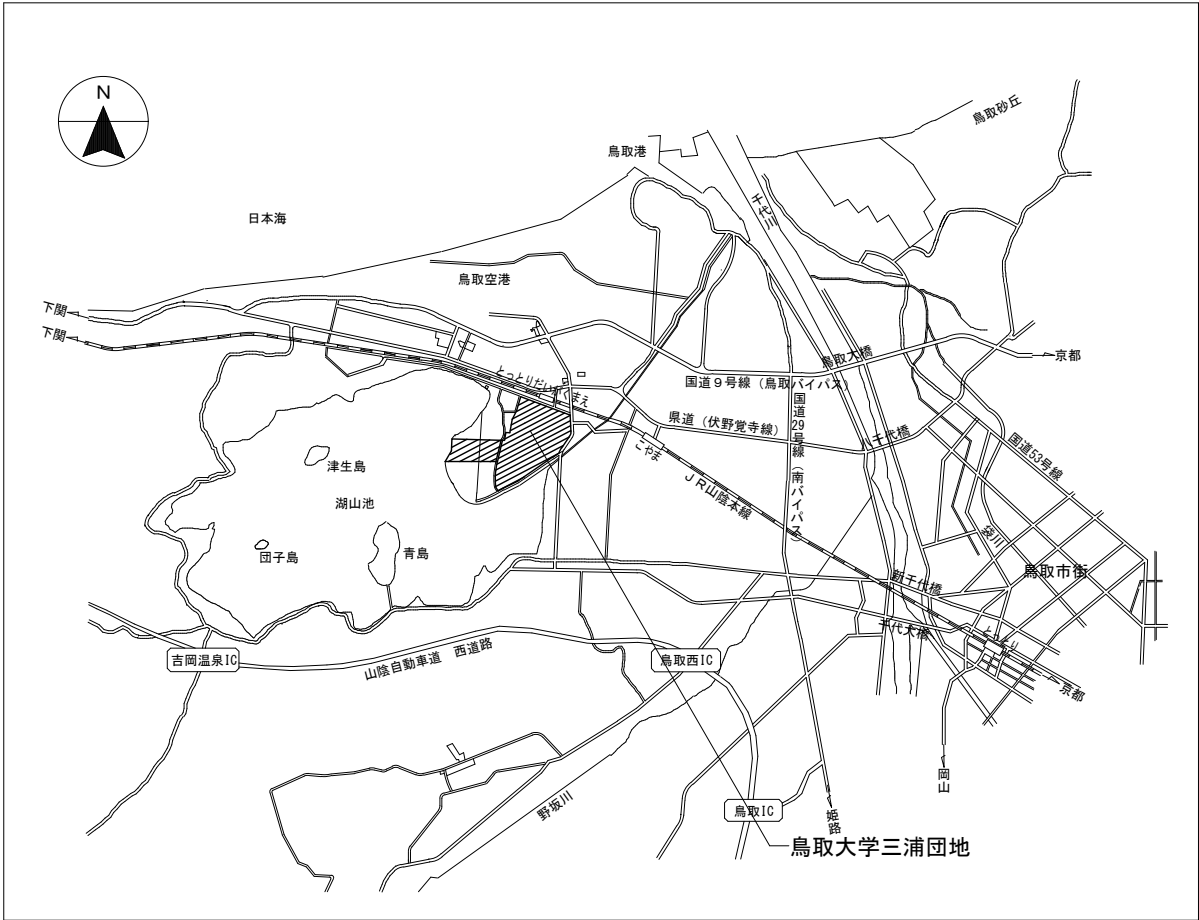
年度	令和 7 年度					配置図・平面図等	別図による。		
1.工 事 名 称	鳥取大学（三浦）工学部B棟等空調設備改修工事					本件に関する照会先	鳥取大学施設環境部企画環境課 総務係 TEL:0857-31-5038 FAX:0857-31-5860		
2.工 事 場 所	鳥取市湖山町南4丁目101番地（鳥取大学三浦団地構内）								
3.完 成 期 限	令和 7 年 1 2 月 1 5 日 月曜日								
4.工事の種類									
規 模 等		工 事 範 囲 表							
建 物 概 要	棟名称	工学部B棟		工学部G棟					
	工種	模様替		模様替					
	構造・階数	R4		R4					
	建築面積	(530)	m ²	(776)	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
	延面積	(2,036)	m ²	(2,456)	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
	改修延面積	— m ²		— m ²		m ²	m ²	m ²	m ²
	建物使用の有無	○ 有 ・ 無		○ 有 ・ 無		・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無	・ 有 ・ 無
屋 内 設 備	空気調和設備	○		○		・	・	・	・
	換気設備	・		・		・	・	・	・
	排煙設備	・		・		・	・	・	・
	自動制御設備	・		・		・	・	・	・
	衛生器具設備	・		・		・	・	・	・
	給水設備	・		・		・	・	・	・
	排水設備	・		・		・	・	・	・
	給湯設備	・		・		・	・	・	・
	消火設備	・		・		・	・	・	・
	ガス設備	・		・		・	・	・	・
	雨水利用設備	・		・		・	・	・	・
	撤去工事	○		○		・	・	・	・
屋 外 其 他 設 備		・		・		・	・	・	・
	空調設備	・		・		・	・	・	・
	排水設備	・		・		・	・	・	・
	消火設備	・		・		・	・	・	・
	ガス設備	・		・		・	・	・	・
	撤去工事	・		・		・	・	・	・
概要					【本件に関する特殊事情】				
1.工学部B棟、工学部G棟の空調設備改修を行う。					・空調機の使用停止（撤去）は10月以降とする。				
					・学内行事等により工事中止期間がある。				
					・振動、騒音、臭気、交通規制が発生する工事については調整を行うこと。				
					・工事範囲外は教職員及び学生が使用するため、安全計画に配慮を行うこと。（工事に伴う粉塵対策を行うこと。）				
					・工事において、発注者側の業務の支障が無いよう養生等の配慮を行うこと。				

※ （ ）の数値は、当該既設建物の面積とする。

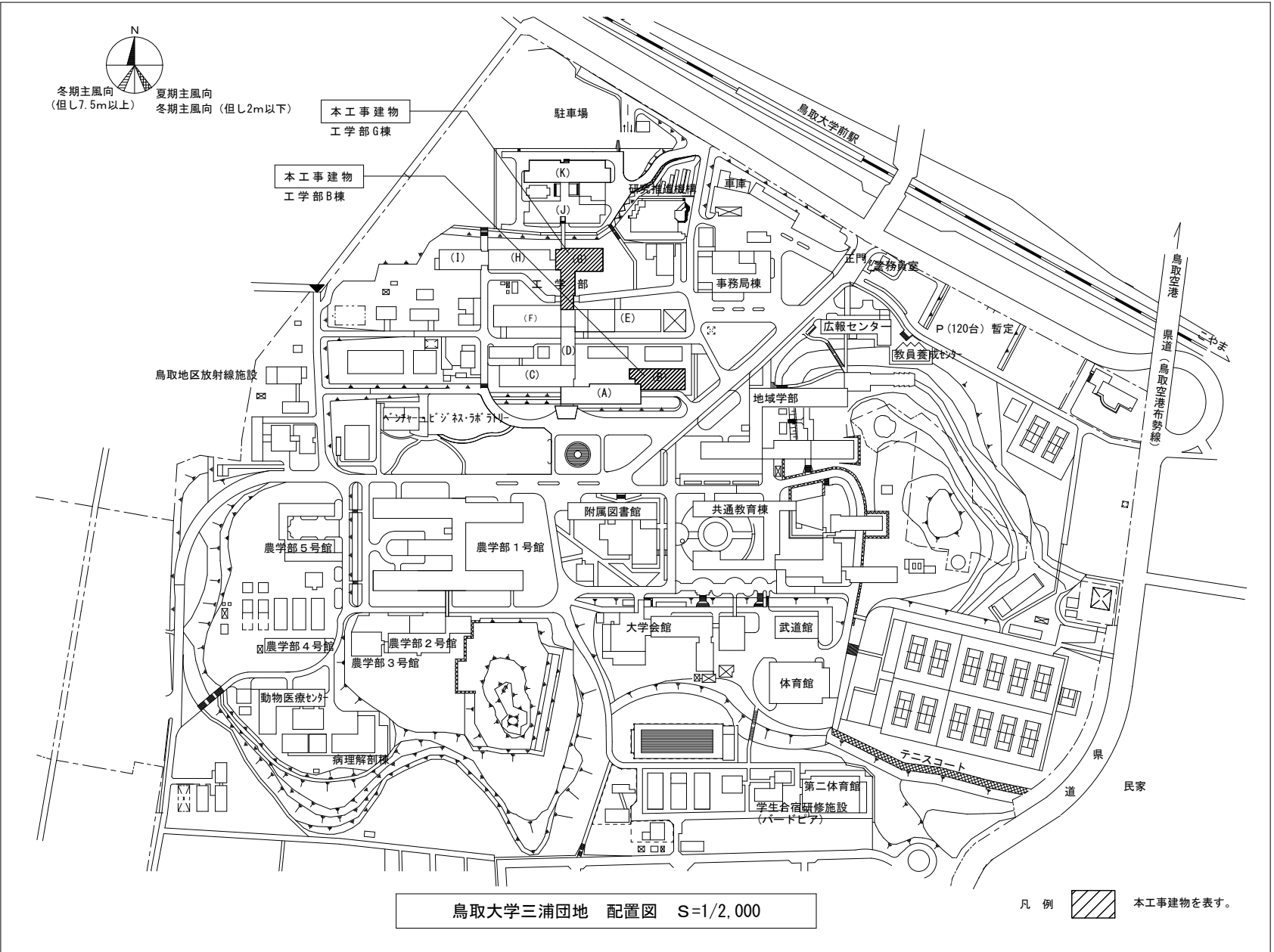
鳥取大学(三浦)工学部B棟等空調設備改修工事

図面目録

通し番号	図面番号	図面名称	縮尺
7-1	M-1	図面目録・付近見取図・配置図	1/2,000, 1/40,000
7-2	特-1	機械設備工事 特記仕様書(1)	—
7-3	特-2	機械設備工事 特記仕様書(2)	—
7-4	M-2	空調設備更新機器表, 階高図	1/100
7-5	M-3	工学部B棟1階3階平面図, 凡例	1/100
7-6	M-4	工学部B棟4階R階平面図, 凡例	1/100
7-7	M-5	工学部G棟2階4階R階平面図, 凡例	1/100



付近見取図 S=1/40,000

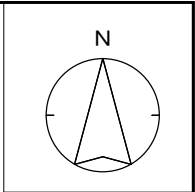


鳥取大学三浦団地 配置図 S=1/2,000

凡 例  本工事建物を表す。

※本工事は、工事概要を示すものであり、発注図とは異なる。

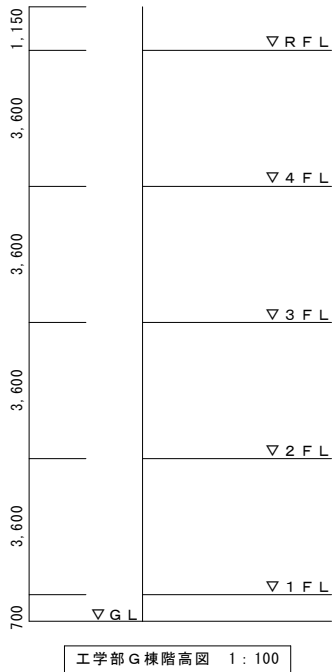
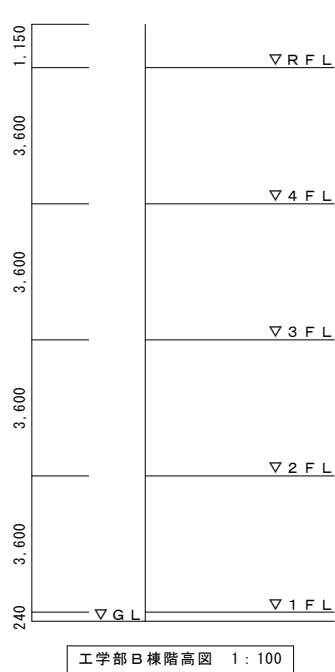
記事		鳥取大学施設環境部		部長	課長	副課長	係長	担当	工事名称	縮尺 (A) S=1:2,000, 1:40,000 (A3) S=1:4,000, 1:80,000	通し番号	図面番号
									鳥取大学(三浦)工学部B棟等空調設備改修工事			
									図面名称 図面目録, 付近見取図, 配置図			
						—			作成年月 令和7年5月		7-1	M-1



空調設備更新機器表

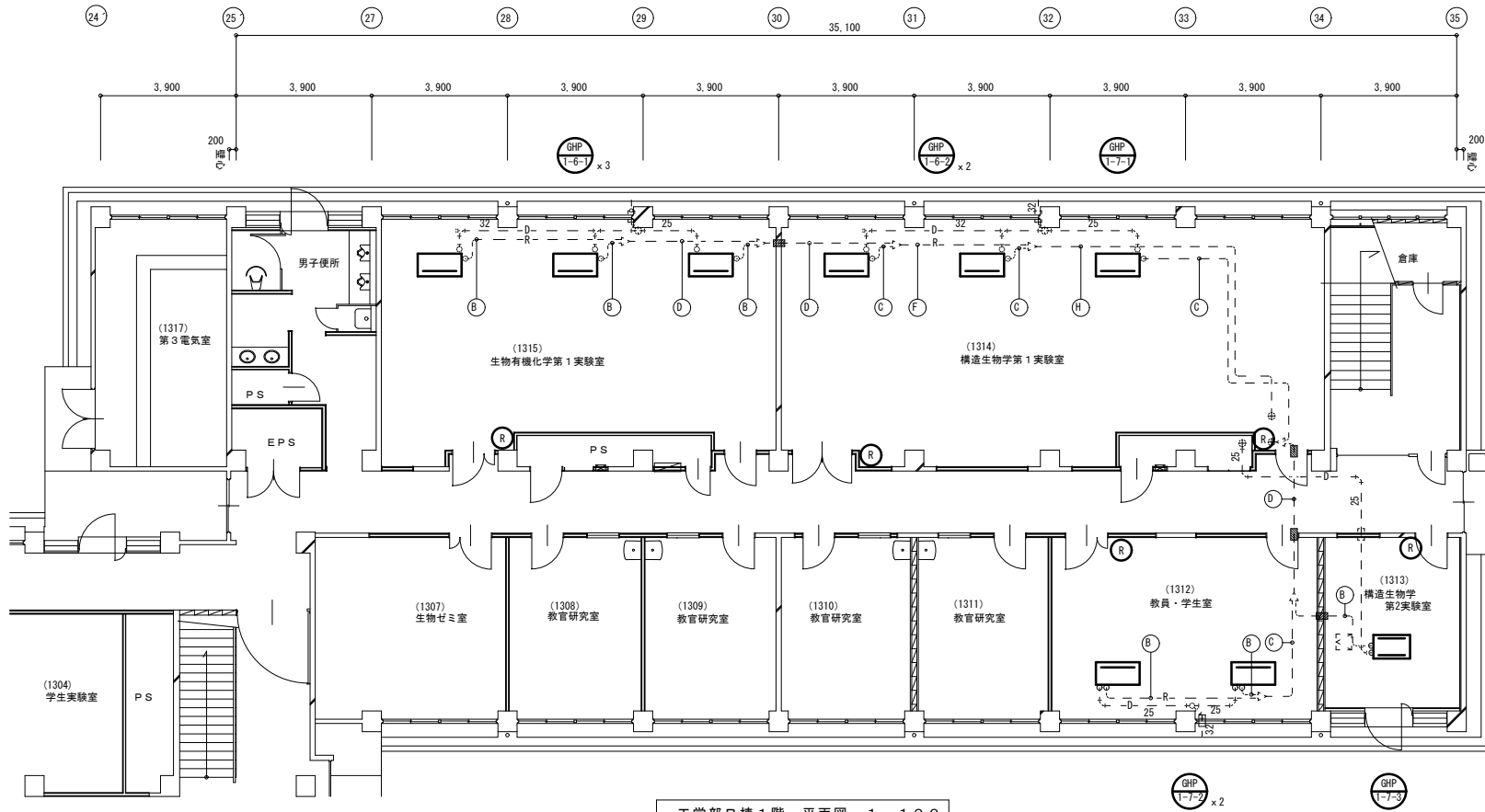
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様						電源 φ-V	台数	備 考	
		形 式	階	室 名	リモコン	冷房能力 (KW)	暖房能力 (KW)				
工学部B棟											撤去型番を示す。（ ）内は冷媒処分量kgとする。
GHP1-6	ビル用マルチエアコン室外機	ガスヒートポンプ式	R			56.0	63.0	3-200	1	耐塩害仕様,防振架台,防雪ネット(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	三菱重工製 GHCSEP560HMT6 (R407C 18kg)
GHP1-6-1	ビル用マルチエアコン室内機	天吊型	1	生物有機化学第1実験室	1	9.0	10.0	1-200	3	ワイヤードリモコン	三菱重工製 GHEP90HMD5
GHP1-6-2	ビル用マルチエアコン室内機	天吊型	1	構造生物学第1実験室	1	11.2	12.5	1-200	2	ワイヤードリモコン	三菱重工製 GHEP112HMD5
GHP1-7	ビル用マルチエアコン室外機	ガスヒートポンプ式	R			35.5	40.0	3-200	1	耐塩害仕様,防振架台,防雪ネット(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	三菱重工製 GHCSEP355HMT6 (R407C 17.5kg)
GHP1-7-1	ビル用マルチエアコン室内機	天吊型	1	構造生物学第1実験室	1	11.2	12.5	1-200	1	ワイヤードリモコン	三菱重工製 GHEP112HMD5
GHP1-7-2	ビル用マルチエアコン室内機	天吊型	1	教員・学生室	1	7.1	8.0	1-200	2	ワイヤードリモコン	三菱重工製 GHEP71HMD5
GHP1-7-3	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット形2方向	1	構造生物学第2実験室	1	7.1	8.0	1-200	1	ワイドハット形,ワイヤードリモコン	三菱重工製 GHTWP71HMD5
GHP3-3	ビル用マルチエアコン室外機	ガスヒートポンプ式	R			56.0	63.0	3-200	1	耐塩害仕様,防振架台,防雪ネット(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	三菱重工製 GHCSEP560HMT6 (R407C 18kg)
GHP3-3-1	ビル用マルチエアコン室内機	天吊型	3	生物第6共同実験室	1	11.2	12.5	1-200	2	ワイヤードリモコン	三菱重工製 GHEP112HMD5
GHP3-3-2	ビル用マルチエアコン室内機	天吊型	3	生体触媒工学第1実験室	1	11.2	12.5	1-200	3	ワイヤードリモコン	三菱重工製 GHEP112HMD5
GHP4-4	ビル用マルチエアコン室外機	ガスヒートポンプ式	R			56.0	63.0	3-200	1	耐塩害仕様,防振架台,防雪ネット(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	三菱重工製 GHCSEP560HMT6 (R407C 18kg)
GHP4-4-1	ビル用マルチエアコン室内機	天吊型	4	物質4317実験室	1	11.2	12.5	1-200	2	ワイヤードリモコン	三菱重工製 GHEP112HMD5
GHP4-4-2	ビル用マルチエアコン室内機	天吊型	4	物質4316実験室	1	11.2	12.5	1-200	3	ワイヤードリモコン	三菱重工製 GHEP112HMD5
工学部G棟											
GHP-K204	ビル用マルチエアコン室外機	ガスヒートポンプ式	R			45.0	50.0	3-200	1	耐塩害仕様,防振架台,防雪ネット(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	三菱重工製 GCP4501MT7 (R410A 20kg)
GHP-K204-1	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット形4方向	2	第22講義室	1	11.2	12.5	1-200	3	化粧ハット形,ワイヤードリモコン	三菱重工製 GTP1123M8
GHP-1	ビル用マルチエアコン室外機	ガスヒートポンプ式	R			35.5	40.0	3-200	1	耐塩害仕様,防振架台,防雪ネット(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	三菱重工製 GHCSEP355HMT6 (R407C 17.5kg)
GHP-1-1	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット形2方向	4	第41講義室	1	8.0	9.0	1-200	4	ワイドハット形,ワイヤードリモコン	三菱重工製 GHTWP80HMD5

※空調機器はグリーン購入法適合品とする。
※機器のみ更新とし、再使用の配管・配線（冷媒・ドレン・計装）電源との切り離し、再接続を行う。
※室外機の機器架台（鋼材）は再利用とする。（新たに鋼材に穴を開ける場合は、高濃度亜鉛粉末塗料による補修を行うこと。）
※室内機の吊ボルトは既設室内機と寸法が異なる場合、開口補強、吊りボルト新設、天井補修を行うこと。
※室内機の吊ボルトの長さが1,000mm以上の場合は振れ止めを設ける。
※新設する空調設備が既設集中管理コントローラーで設定できるように調整すること。
※工学部B棟及びG棟の集中管理コントローラーは工学部G棟1階事務室内にあり、三菱重工製である。
※新設空調設備が他メーカーの場合、既設集中管理コントローラーの周辺に集中管理コントローラーを新設すること。

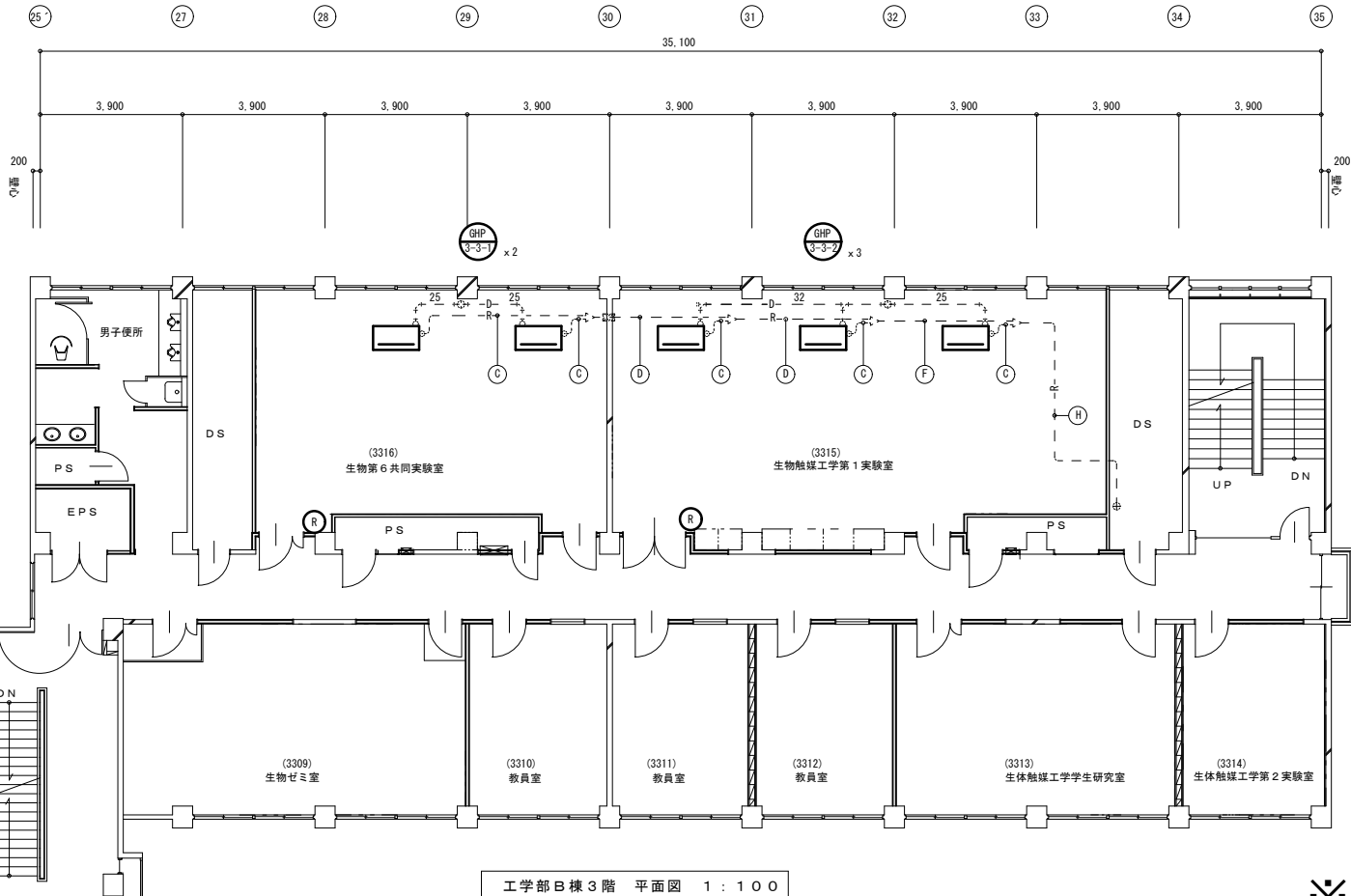


※本工事は、工事概要を示すものであり、発注図とは異なる。

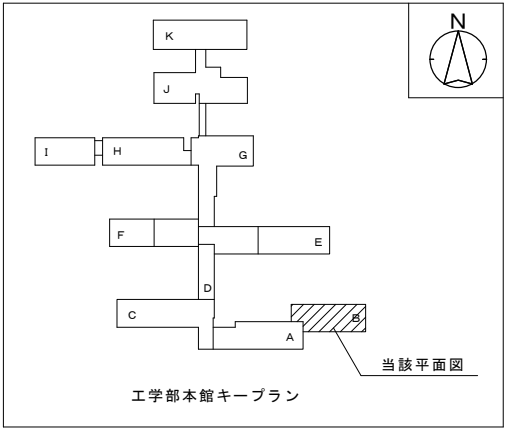
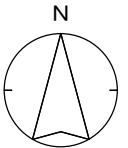
記 事		鳥 取 大 学 施 設 環 境 部		工事名称 鳥取大学(三浦)工学部B棟等空調設備改修工事 図面名称 空調設備更新機器表,階高図	縮尺 (A1)S=1:100 (A3)S=1:200	通し番号 7-4	図面番号 M-2
					作成年月 令和7年5月		



工学部B棟1階 平面図 1 : 1 0 0



工学部B棟3階 平面図 1 : 1 0 0



冷媒配管サイズ表 (参考)

記号	液管	ガス管
(A)	φ 6.35	φ 12.7
(B)	φ 9.52	φ 15.88
(C)	φ 9.52	φ 19.05
(D)	φ 12.7	φ 25.4
(E)	φ 12.7	φ 28.58
(F)	φ 15.88	φ 31.8
(G)	φ 15.88	φ 34.92
(H)	φ 19.05	φ 38.1

凡 例

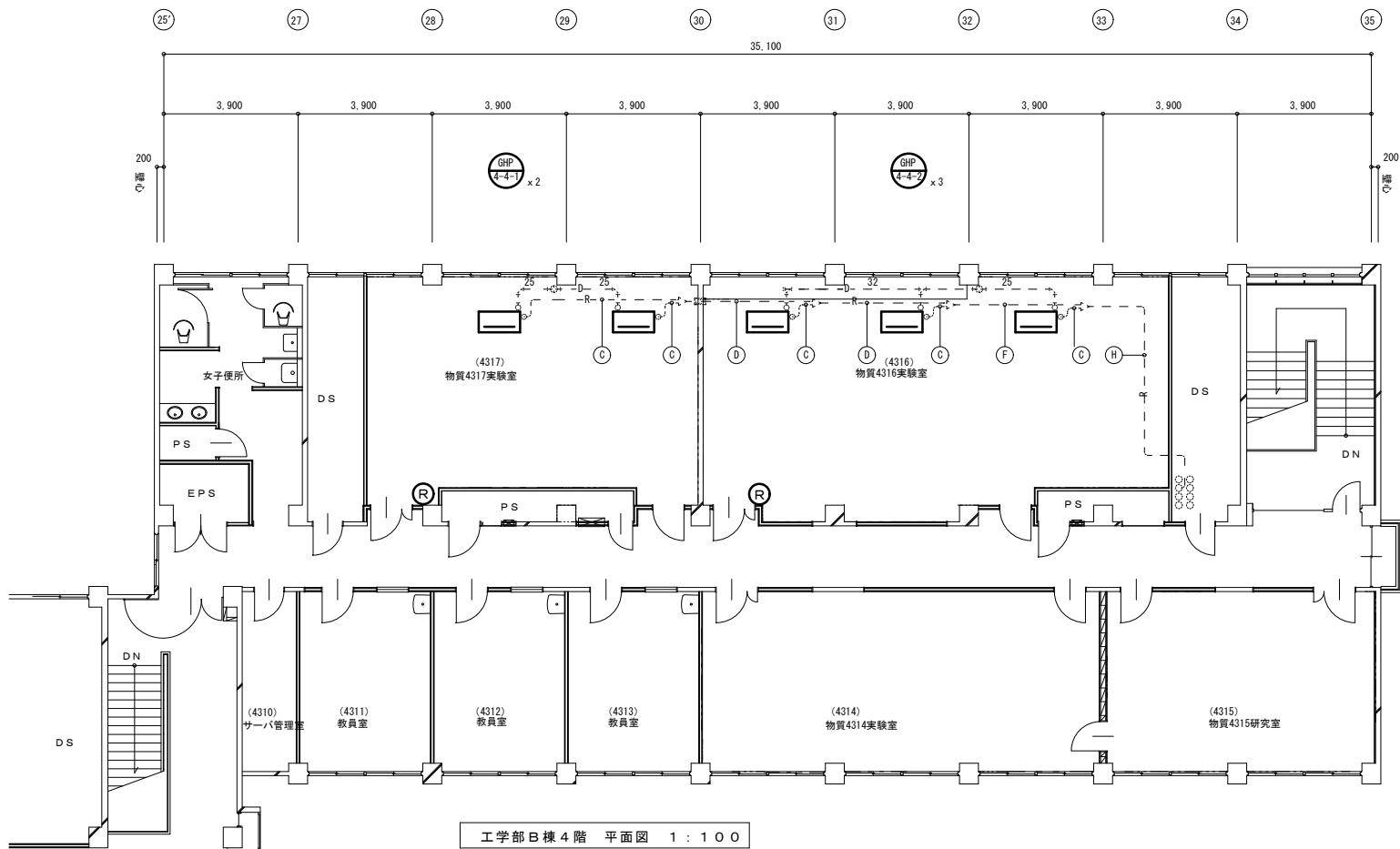
符号	名 称	仕 様
	室内機	天井カセット形2方向
	室内機	天吊形
(R)	リモコン	ワイヤード
	点検口	□450
— R —	既設冷媒配管	冷媒配管用被覆断熱銅管 (制御線共巻)
— D —	既設ドレン管	配管用炭素鋼鋼管 (白)

特記

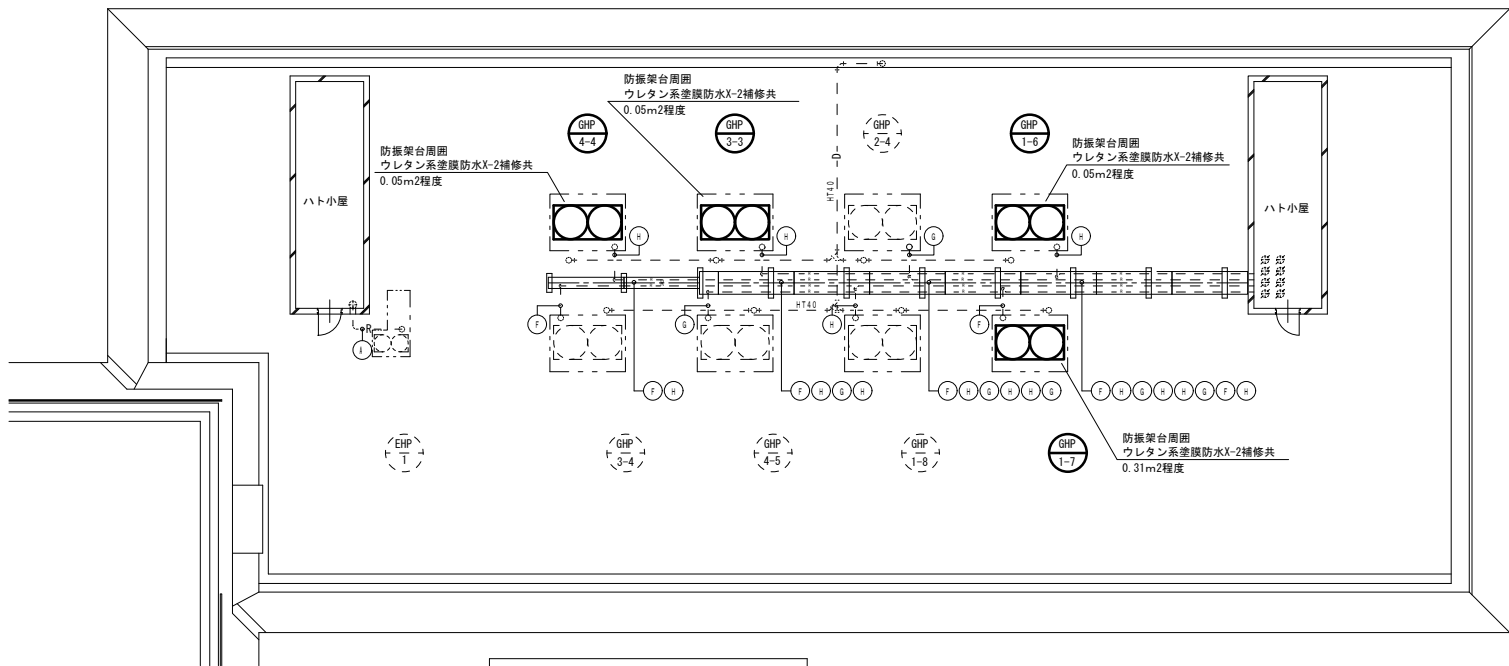
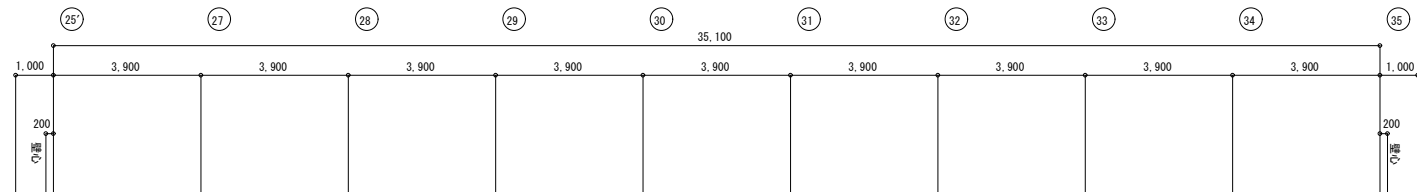
- ・太線を更新とすること。
- ・作業範囲には十分な養生を適切に実施し、作業の際は粉塵に気を付けること。
- ・配管 (冷媒・ドレン)、配線 (電源・計装) は既設再接続とする。

※本工事は、工事概要を示すものであり、発注図とは異なる。

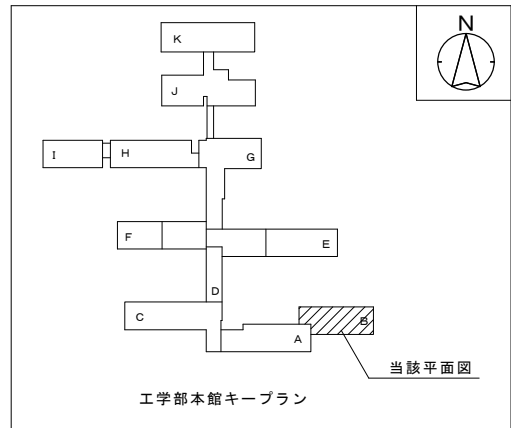
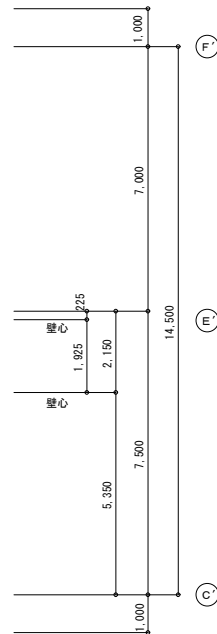
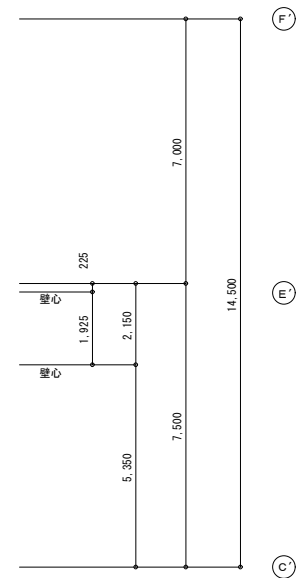
記 事		鳥取大学施設環境部	工事名称 鳥取大学(三浦)工学部B棟等空調設備改修工事 図面名称 工学部B棟1階3階平面図, 凡例	縮尺 (A1) S=1 : 100 (A3) S=1 : 200	通し番号 7-5	図面番号 M-3
				作成年月 令和7年5月		



工学部B棟4階 平面図 1：100



工学部B棟R階 平面図 1：100



工学部本館キープラン

冷媒配管サイズ表（参考）

記号	液管	ガス管
(A)	φ 6.35	φ 12.7
(B)	φ 9.52	φ 15.88
(C)	φ 9.52	φ 19.05
(D)	φ 12.7	φ 25.4
(E)	φ 12.7	φ 28.58
(F)	φ 15.88	φ 31.8
(G)	φ 15.88	φ 34.92
(H)	φ 19.05	φ 38.1

凡 例

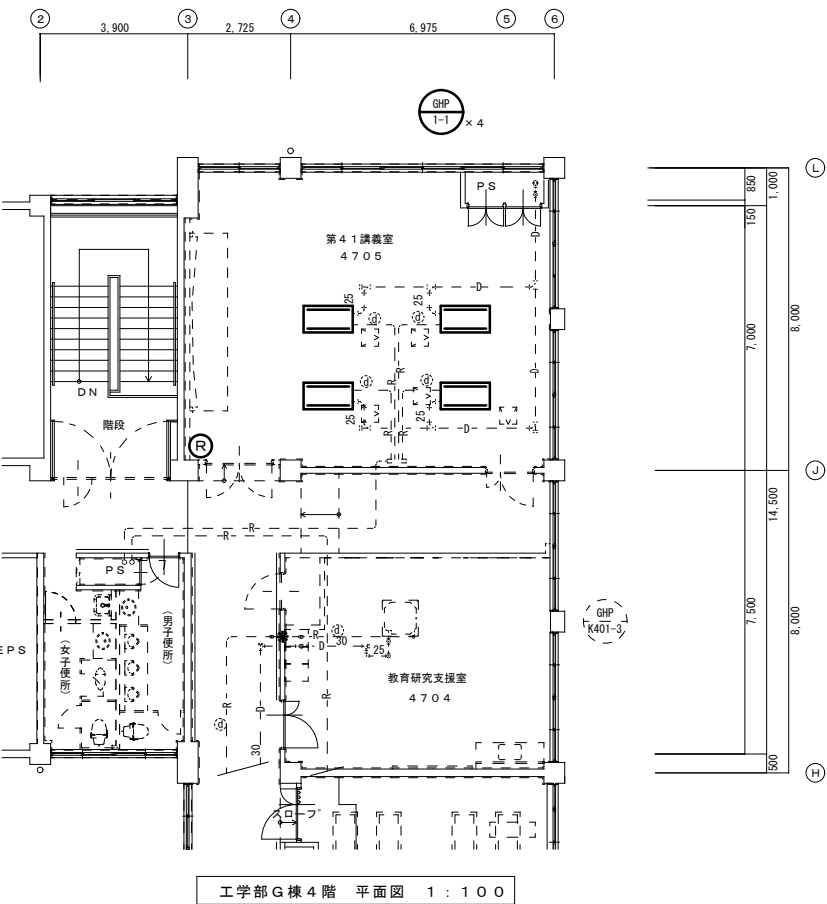
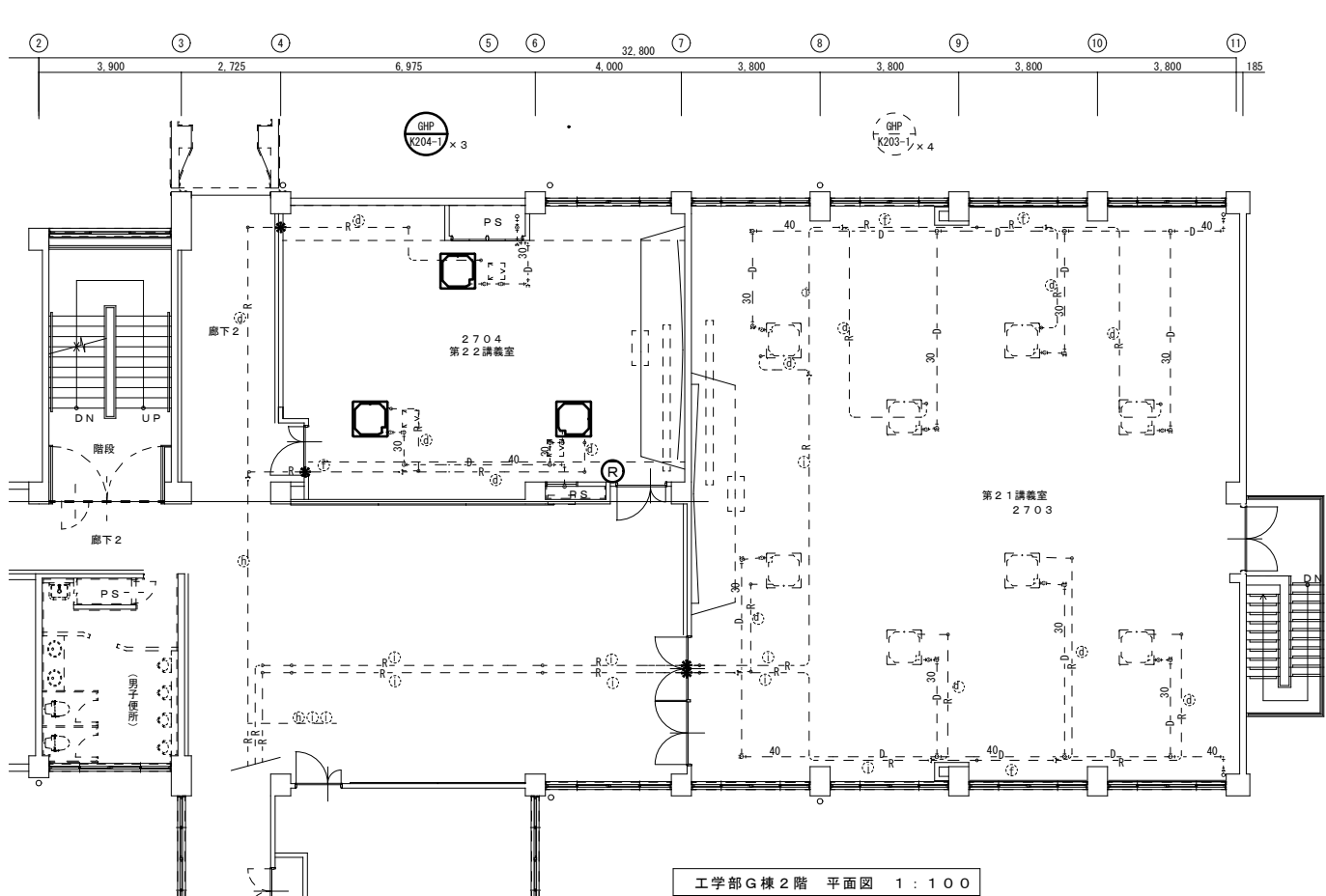
符号	名 称	仕 様
	室外機	
	室内機	天吊形
(R)	リモコン	ワイヤード
— R —	既設冷媒配管	冷媒配管用被覆断熱銅管（制御線共巻）
— D —	既設ドレン管	配管用炭素鋼鋼管（白） 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管（屋上）

特記

- ・太線を更新すること。
 - ・作業範囲には十分な養生を適切に実施し、作業の際は粉塵に気を付けること。
 - ・配管（冷媒・ドレン）、配線（電源・計装）は既設再接続とする。
 - ・防振架台取替後、防振架台周囲の基礎を防水処理すること。
- 防水仕様：ウレタン系塗膜防水X-2

※本工事は、工事概要を示すものであり、発注図とは異なる。

記 事		鳥取大学施設環境部	工事名称 鳥取大学（三浦）工学部B棟等空調設備改修工事 図面名称 工学部B棟4階R階平面図、凡例	縮尺 (A1) S=1：100 (A3) S=1：200	通し番号 7-6	図面番号 M-4
				作成年月 令和7年5月		



冷媒配管サイズ表

記号	液管	ガス管
a	φ6.35	φ9.52
b	φ6.35	φ12.7
c	φ9.52	φ12.7
d	φ9.52	φ15.88
e	φ9.52	φ19.05
f	φ9.52	φ22.22
g	φ12.7	φ19.05
h	φ12.7	φ25.4
i	φ12.7	φ28.58
j	φ15.88	φ25.4
k	φ15.88	φ28.58
l	φ15.88	φ31.8

凡 例

符号	名 称	仕 様
	室外機	
	室内機	天井カセット形4方向
	室内機	天井カセット形2方向
	リモコン	ワイヤード
	点検口	□450
	既設冷媒配管	冷媒配管用被覆断熱銅管（制御線共巻）
	既設ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） 屋内横引管 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管（HTVP） 室外機用

特記

- ・太線を更新とすること。
- ・作業範囲には十分な養生を適切に実施し、作業の際は粉塵に気を付けること。
- ・配管（冷媒・ドレン）、配線（電源・計装）は既設再接続とする。
- ・G棟室外機の機器架台（鋼材）は再利用とする。
- （新たに鋼材に穴を開ける場合は、高濃度亜鉛粉末塗料による補修を行うこと。）

※本工事は、工事概要を示すものであり、発注図とは異なる。

